

# 戦 評 用 紙

## 大会名 2010年度全日本社会人ホッケー選手権大会 (おいでませ!山口国体ホッケー競技リハーサル大会)

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
23	3位決定戦	H 22	9	15	9:30	玖珂総合公園人工芝グラウンド	人工芝 (M)

チーム名

小矢部RED OX

試 合	1	—	1
(前半)	0	—	0
(後半)	1	—	1
延 長	0	—	0
	0	—	0
P S	4	—	2

チーム名

RIVERSOUL 岐阜

NO.	先発	背番号	氏 名	G	Y	R
1	レ	1	中嶋 伸聡			
2	レ	2	浅井 信義			
3		3	早田 吉秀			
4		4	白根 幸博			
5	レ	5	高嶋 芳樹			
6	レ	6	河合 亮平			
7		7	高村 一聡			
8	9	9	村上 宜優			
9	レ	⑩	原田 竜平			
10	レ	11	早田 光成			
11		13	茶末 裕史			
12	レ	14	早田 佳史			
13	レ	15	清水 重秀			
14	レ	17	岡村 光晶			
15	レ	18	太田 翔			
16	レ	26	飛田 尚彦			
17	11	28	沼田 秀樹			
18		30	吉田 泰之			

NO.	先発	背番号	氏 名	G	Y	R
1	レ	1	岡部 潤			
2	レ	2	百成 俊博			
3	レ	3	井上 拓哉			
4	レ	4	光山 和宏			
5	レ	5	安田 康彦			
6	レ	6	高島 寛司			
7		7	辻 健吾			
8	レ	8	藤井 辰憲			
9		9	内山 雅友			
10		10	杉下 尚也			
11	レ	⑪	伊藤 高志			
12	9	12	長屋 恭太			
13	レ	13	光田 修			
14	レ	14	川島 央嗣			
15	レ	15	竹田 昇司			
16		16	日高 和弘			
17	36	18	佐藤 弘樹			
18						

### 【戦 評】

RIVER SOUL岐阜のセンターパスで前半開始。岐阜が小矢部サイドでボールを支配する展開になるも、小矢部が次第にボールを取り返し、一進一退の攻防が続く。17分、岐阜が3番井上のセンタリングを14番川島が合わずもゴールにならず。18分、引き続き岐阜がチャンスをつくり、15番竹田がシュートを放つもなかなかゴールを捉えられない。27分、小矢部がこの試合最初のPCを獲得するも、岐阜の好守に阻まれ得点できず。28分、29分に岐阜が連続でPCを獲得するもシュートがゴール右ポストにあたり得点にならず。行き詰る熱戦の中、前半終了間際に、小矢部が連続でPCを獲得するが決定打がせず、岐阜優勢のまま、前半終了。

小矢部RED OXのセンターパスで後半開始。3分、小矢部26番飛田がドリブルで持ち込みゴール前の混戦の中、17番岡村がボールを押し込み、小矢部が待望の先制点をあげる。17分、速攻で岐阜の11番伊藤がダイレクトシュートを決め、同点に追いつく。このまま、後半終了。延長戦に突入。延長前半得点入らず、後半も終了間際、小矢部が連続でPCを獲得するも岐阜の好守に阻まれ、同点のままPS戦に突入。PS戦の結果、4対2で小矢部が勝利し、3位になる。

# 戦 評 用 紙

## 大会名 2010年度全日本社会人ホッケー選手権大会 (おいでませ!山口国体ホッケー競技リハーサル大会)

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
24	決勝	H 22	9	15	11:20	玖珂総合公園人工芝グラウンド	人工芝 (M)

チーム名

名古屋フラーテルホッケーチーム

試 合	3	—	0
(前半)	2	—	0
(後半)	1	—	0
延 長	—	—	—
P S	—	—	—

チーム名

ブラスティ名古屋

NO.	先発	背番号	氏 名	G	Y	R
1	レ	1	小澤 和幸			
2	レ	2	三澤 孝康			
3	レ	3	粥川 幸司			
4	レ	4	小野 知則			
5	レ	5	渡邊 宏樹			
6	レ	6	河内 伸仁			
7	13	7	猿養 諭			
8	レ	9	山堀 貴彦			
9	レ	⑪	川上 啓			
10		12	坪内 一浩			
11	20	13	前田 圭治			
12	レ	14	長澤 克好			
13	13	15	佐合 克典			
14	36	16	畠山 学			
15	11	17	橋 敏郎			
16	レ	18	福代 勇太			
17	レ	19	高瀬 克也			
18	36	21	長岡 俊輔			

NO.	先発	背番号	氏 名	G	Y	R
1	レ	1	柳 承辰			
2	レ	3	吉田 一男			
3	13	4	東谷 博史			
4		5	松居 文嘉			
5	レ	6	伊藤 満	48		
6	レ	7	古澤 満彦			
7	レ	10	福田 敏昭			
8		12	竹原 淳			
9	レ	14	片山 謙一			
10	レ	17	小嶋 祐二			
11		19	高橋 章			
12		20	関 陽 郎			
13	レ	21	三好 浩史			
14	レ	22	吉崎 弘樹			
15	レ	23	岩田 慎二			
16		24	河崎 宏郁			
17	レ	26	河野 孝博			
18	18	28	小澤 隆弘			

### 【戦 評】

ブラスティ名古屋のセンターパスで前半開始。開始から名古屋フラーテルが豊富な運動量と早いパス回しで有利に試合を進め、6分18番福代による左からのセンターリングを17番橋がタッチシュートを決める。その後も再三ゴールに迫る。19分18番福代からのセンターリングを17番橋がシュートを放つがゴールポストに当たり追加点を奪えない。28分PCより2番三澤のヒットシュートを5番渡邊がGK前でタッチシュートをし、追加点を奪う。それに対してブラスティは1番柳の個人技でフラーテルゴールを脅かすが、サークルエリアに入ることができない。前半はシュートを打てずに終了。フラーテル名古屋のセンターパスで後半開始。立ち上がりからフラーテルが追加点を狙いに立て続けにシュートを放つがゴール枠を捉えることができない。20分・23分PCを奪うがGKの好セーブにより追加点を奪うことができない。25分14番長澤がドリブルでDFを振り切り右サイドサークル付近からセンターリング17番橋がタッチシュートを決め追加点を奪う。ブラスティはスクープ、長いパスからのカウンターを駆使しフラーテルゴールを狙うが、最後まで自分たちのペースを掴みず、に圧倒され試合終了。日本代表を多く揃えたフラーテルが順当に優勝した。